

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0840010 _ 001

【1.基本情報】

事業名	市営墓地管理					
担当部名	市民生活部		担当課名	市民生活政策課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	18	年度～	年度	根拠法令・関連計画 墓地埋葬等に関する法律、岐阜市墓地条例	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市営墓地施設の維持管理					
内容 (手段・手法など)	施設内外の巡視及び警備、墓参者の対応、施設管理 施設内のごみ収集、雑草引き、樹木剪定、補修作業等					
事業の 対象	何を	市営墓地施設の維持管理				
	誰に	墓地使用者				
	どのくらい	墓地使用者 18, 123人				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,450	260	8,398	260	8,268	260
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	8,450	260	8,398	260	8,268	260

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		45,830	44,841	37,947
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	管理業務	3,063	3,067	3,157
	清掃業務	15,793	15,853	16,397
	修繕・工事費	2,862	2,753	3,785
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		45,830	44,841	37,947

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	54,280	53,239	46,215

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円) 令和3年度決算額(千円) 令和4年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	15,635	10,656	7,076
その他	0	0	0
計(F)	15,635	10,656	7,076

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	38,645	42,583	39,139

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	18,268	18,128	18,123
受益者負担額(千円)	15,519	10,541	6,960
受益者負担率(%)	28.6%	19.8%	15.1%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,115	2,349	2,160

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	市営墓地の使用可能区画数		単位	区画
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	20,214	20,214	20,571	
実績値	19,473	19,488	19,631	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	市営墓地の使用率		単位	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	100	100	100	
実績値	96	96	95	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	利用者の利便性の向上や市民ニーズの把握に努めている。 市営墓地として整備されたものであり、市が維持管理していく必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	民間で実施できるものを委託することで、合理的、経済的で確実な施設管理に努めている。 市営墓地として整備されたものであり、市が維持管理していく必要がある。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	利用者の利便性・安全性の向上に努めている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	全ての市民が、条件を満たせば、使用の申込が可能である。 また、新規貸付の使用料は、墓地造成の費用から算定しており、適正と考えている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	今後も利用者の利便性・安全性の向上に努めるとともに、合葬墓などの新たな形態の墓地について研究していく。